



尼北コミ通



尼崎北小学校コミュニティ・スクール通信 No.13 R4.11.11 (文責：高原)

校区にある富松城跡の魅力について学ぼう

11月11日(金)、関西学院大学社会学部の学生さんと富松城跡を活かすまちづくり委員会の方が、6年生に出前授業に来てくださいました。本校は、関西学院大学の学生さんと地域学習を行うのは3年目となりました。今年は、「富松城跡の活用方法を考えよう」をテーマに学習をしました。まず、富松城について理解を深めます。クイズもあり、子どもたちも興味いっぱいでした。次に、今の富松城跡にある資源や現在の活用方法について学びました。いよいよ、子どもたちは、「富松大使」に任命され、グループで富松城跡にある資源を活用したイベントを考えます。アイデアの出し方を考えるヒントとして、かけ算を使うことを教えてもらい、「城跡にある資源」×「行事や出来事」で活用方法を考えます。子どもたちからは、「竹」×「そうめん」で「流しそうめん」や「土地」×「節分」で「茨木童子と節分行事」など、たくさんのアイデアが出ました。

6年生のみんなが積極的にグループで考え、学生のみなさんが子どもたちの目線に立って一緒になって考え、みんなが笑顔で学習をしていました。子どもたちは、地域のことを自分事としてとらえたり、アイデアを出す方法を知ることができたりと多くの学びがありました。

